長田神楽への思いを形に――善めいさんが「夢わらべ人形」を寄贈

陶人形作家・善（ぜん）めいさんから長田地区のまめなぎ会に「夢わらべ人形」が寄贈され、10月20日にお山の学校ながたで贈呈式が行われました。

寄贈された人形は、8年前に後継者が途絶えた長田神楽をモチーフにしたオロチや須佐之男命（すさのおのみこと）など13体。一部の人形には貴重な菩提樹の葉が埋め込まれています。善めいさんは「長田神楽を形として残したいという思いに応えたかった。これからも長田の皆さんとの交流を大切にし、『おかげ様』の感謝の気持ちを届けたい」と話しました。

住民有志が建てたあずまやに、善めいさんの手で力作が並べられた

バイオマス発電所の完成を記念して事業の代表者らがテープカット

町の新しいエネルギー時代の幕開け「内子バイオマス発電所竣工式」

内子バイオマス発電所がこのほど完成し、竣工式が10月31日、内子町森林組合小田支所に隣接する同発電所で執り行われました。

発電設備は小型高効率木質バイオマス熱電供給システム6基と温水バイナリー発電システム1基。燃料は地元の間伐材由来のペレットで、年間883万キロワット時の発電量が見込まれます。

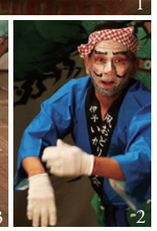
発電所長の内藤昌典（まさのり）さんは「未利用材を有効活用したいという思いで始まった。エネルギー供給と林業の活性化に貢献したい」と力を込めました。

地域色の豊かな伝統文化で交流「内子町伝統芸能まつり」

「第7回内子町伝統芸能まつり」（内子町教育委員会他主催）が11月11日、内子座で開かれ、約300人が訪れました。

今年は5団体79人が出演。その内の2団体は町外からの特別出演で、大分県大分市の「馬場子供神楽」は、須佐之男命がヤマタノオロチを退治する場面を迫力ある舞で表現し、観客を魅了しました。姉妹町村の沖縄県宜野座村の「字松田（あざまつだ）区芸能団」は、花笠と紅型衣装で優雅に踊る「四つ竹」や、「獅子舞」など4演目を披露しました。

町内からは五十崎秋祭り獅子舞保存会、中川万歳保存会、五十崎凧おどり保存会が出演。中川万歳保存会の「松づくし」では、松の描かれた扇子を足の指などで巧みに広げるたび、会場から拍手が送られていました。



1_馬場子供神楽の圧巻の演技に会場がざわついた　2_独特な化粧と表情の凧踊り　3_沖縄の獅子は毛がフサフサ

中学生が小さな命を抱きしめる 小田中で「いのちの授業」を開催

多感な時期の中学生に命の大切さを学んでもらおうと「内子町いのちの授業」が11月14日、小田中学校で開かれました。

授業ではまず、有志のお母さんと赤ちゃん18組との交流を楽しむ「ふれあい活動」が行われました。生徒たちは赤ちゃんを抱かせてもらったり、育児の話を聞いたりして、小さな命が持つかわいらしさや、産み育てることの楽しさと大変さを学んでいました。

その後、各教室に分かれて結婚や出産、子を育てる親の責任について意見を交わし、命の重さに真剣に向き合いました。

3年生の松本栞奈（かんな）さんは「育児の楽しさと厳しさの両方を教わった。いつか自分が親になったとき、かけがえのない命を大切にしたい」と力強く語りました。

1_赤ちゃんのかわいさに目を細める生徒　2_パラバルーンで親子と交流する小田中の生徒たち

マイバッグ宣言でレジ袋を削減 商店街で「マイバッグキャンペーン」

環境活動推進グループのエコ好き内子は11月11日、100円商店街でにぎわう内子本町商店街で「マイバッグキャンペーン」を行いました。

同グループはマイバッグ宣言をした人に、天然由来のオリジナルマイバッグをプレゼント。50人が宣言し、その一人の城戸夏美（なつみ）さん（内子小3）は「デザインが気に入った。普段から使って、大切にしたい」と笑顔でした。

次回は12月13日、小田中央商店街で開かれる「昔べっぴん母ちゃん会の100円市」で配布します。ぜひお越しください。

オリジナルマイバッグと宣言カードを手にして記念撮影をする参加者

食・スポーツ・文化の秋を堪能「内子東自治センターまつり」

「内子東自治センターまつり」（内子東自治センター他、主催）が11月25日、同自治センターで開かれました。

管内の6自治会がうどんや焼き鳥などのバザーを出店した他、文化作品の展示などが行われました。初企画の「○×クイズ」では、各自治会に関する問題が出題され、正解発表のたびに喜びと落胆の声が聞こえてきました。優勝した井上幹太（かんた）くん（6）＝大洲市＝は「お母さんと協力して考えた。最後に思い切って答えを変えたのがよかった」とうれしそうでした。

秋空の下で玉入れ競争やゲートボール大会なども行われた